

第21回 エコキッズキャンプ in 尾瀬片品 (渋 川 市)

実施日 2025年 8 月16日(土) ～ 17日(日)

実施レポート

自然豊かな尾瀬と水資源に恵まれた群馬の 再生エネルギーについて学ぶ



主 催 公益財団法人 ぐんぎん財団
後 援 群 馬 県 教 育 委 員 会
協 力 渋 川 市 教 育 委 員 会

目 次

エコキッズキャンプの開催概要	2
エコキッズキャンプスケジュール	3
キャンプの様子	4
みんなの意見・感想	8



片品村役場玄関前にて

第21回ぐんぎん財団 エコキッズキャンプ in 尾瀬片品 〈渋川市〉

1. 目的 : 自然豊かな尾瀬と水資源に恵まれた群馬の再生エネルギーについて学ぶ
2. 主催 : 公益財団法人ぐんぎん財団
3. 後援 : 群馬県教育委員会
4. 協力 : 渋川市教育委員会
5. 実施日 : 2025年8月16日(土)～17日(日)
6. スケジュール : (別紙)
7. 指導者 : 群馬大学名誉教授
前橋工科大学理事長
ぐんま山森自然楽校校長
- 西 蘭 大 実
劔 持 雅 信
8. 参加者 :
- | | | | |
|--------|----|--------|-----|
| 橋北小学校 | 3名 | 渋川南小学校 | 2名 |
| 橋北小学校 | 2名 | 渋川北小学校 | 4名 |
| 金島小学校 | 2名 | 中郷小学校 | 2名 |
| 古巻小学校 | 3名 | 津久田小学校 | 3名 |
| 三原田小学校 | 1名 | 豊秋小学校 | 5名 |
| | | 合計 | 27名 |
9. 運営スタッフ :
- | | |
|-------------|-----------|
| ぐんぎん財団(事務局) | 手 島 克 也 |
| 群馬銀行広報室 | 須 賀 聡 |
| 看護師 | 永 井 千 穂 |
| 児童サポート | |
| 河 田 湖 月 | 小 林 礼 弥 |
| 高 橋 沙 綾 | 関 口 蓮 人 |
| 石 嶋 大 夢 | 鈴 木 絵 里 奈 |

第21回ぐんぎん財団エコキッズキャンプ in 尾瀬片品

8月16日（土）		
8：30	渋川市役所 集合	（市役所第二庁舎駐車場）
8：45	渋川市役所 出発	群馬バス大型1台
9：50	片品村役場 到着	
10：00	役場会議室	
	開校式・西園先生の環境教育	
11：30	昼 食	
12：20	片品村役場 出発	
12：30	ぐんぎん尾瀬片品水力発電所 到着	
	東京発電社員さんから小水力発電を学ぶ	
13：30	ぐんぎん尾瀬片品水力発電所 出発	
13：45	炭クラフト体験iikarakan 到着	
	炭クラフト体験 炭焼き小屋見学 水中生物観察	
16：15	炭クラフト体験iikarakan 出発	
16：30	宿泊先「湯元千代田館」 到着	夕食前に入浴
18：00	夕 食	
19：00	尾瀬散策の事前学習・アンケート（感想）記入	
20：00	自由時間	
21：00	就 寝	
8月17日（日）		
6：30	起 床	
7：00	朝 食	
8：00	宿 舎 出発	群馬バス小型2台
8：30	鳩待峠 到着	
8：45	鳩待峠 出発	3km 60分
9：45	山の鼻 到着（山の鼻ビジターセンター）	休憩20分
10：05	山の鼻 出発	2km 40分
10：45	牛首分岐 到着	休憩・食事 30分
11：15	牛首分岐 出発	2km 40分
11：55	山の鼻 到着（山の鼻ビジターセンター）	休憩20分
12：15	山の鼻 出発	3km 60分
13：45	鳩待峠 到着	
14：00	鳩待峠 出発	
14：40	役場・道の駅 着	解散式・アンケート記入・お土産購入
16：00	役場・道の駅 発	
17：00	渋川市役所	到着・解散

キャンプの様子



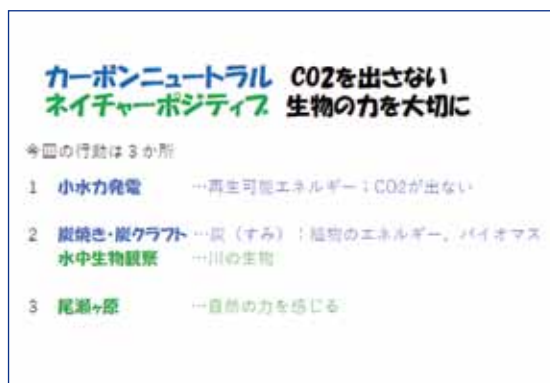
1. 西園先生の環境教育

最初に、片品村役場の会議室で、オリエンテーション、自己紹介をおこないました。

続いて、西園先生から、今回のキャンプのキーワード「カーボンニュートラル」と「ネイチャーポジティブ」を教えてくださいました。このキーワードが、今回訪問する「水力発電所」「炭焼き小屋」「尾瀬ヶ原」などと、どう関係してくるのか、CO2の増加が地球温暖化の原因となっていることや、CO2を発生させない発電方法、などをキャンプのスタートで学びました。



西園先生のお話



講義の資料

2. ぐんぎん尾瀬片品発電所見学

この発電所は令和5年に完成した、新しい水力発電所です。

観光や環境教育を目的に学びの場所として活用できるよう、建物内部の発電機が見える大きな窓を付けるなど、デザイン性の高い建物になっています。

発電所を運営している東京発電株式会社の社員さんから「小水力発電」について学び、普段は入れない建物内部に入れていただき、発電機が高速で回転している様子などを見学しました。



小水力発電についての学習



発電所をバックに記念撮影



建物内部で発電機の見学

3. 水辺の生物観察、炭焼き小屋見学、炭クラフトづくり

Iikarakan（いいからかん）を訪問し、3つの班に分かれて、「水辺の生物観察」「炭焼き小屋見学」「炭クラフトづくり」を順番に体験しました。

likarakan

首都圏から移住されたご夫婦が、農業（自然農法）、炭アクセサリー制作、味噌づくりなど、イベントの企画や、田舎暮らしの情報を発信しています。「いいからかん」は片品村の方言で、「いいかげん」という意味です。

○水辺の生物観察

水中メガネと魚とり網を持って川に入り水辺の生物観察を行いました。

昨年のキャンプでは、カジカやヤゴなどを捕獲出来ましたが、今回魚は一匹も取れませんでした。しかしながら、川に入って涼しさを味わうことができました。



水辺の生物観察（水中メガネと網を使って生物を探します）

○炭焼き小屋見学

尾瀬須藤林産を訪問し、炭づくりについて学びました。

炭焼き小屋は焼き窯が二つあり、一つは実際に炭を焼いていて窯の周りは非常に高温でした。今回は、もう一つの窯の中に入れていただき、窯の内側を見学しました。

経営者の須藤さんから、炭の作り方、まき（原木）と炭の重さの違い、炭づくりの途中で生まれる「木酢酸」について教えてもらいました。

電動のまき割り機械を使ったまき割りを、全員が体験させてもらいました。

最後に、炭火焼きのおいしいトウモロコシをごちそうになりました。

尾瀬須藤林産

経営者須藤賢一さんは、父親の代から続く炭焼き職人。群馬県内では唯一、年間を通じて炭焼きを行っています。



炭と原木の比較



炭やき小屋の中を見学



機械を使ったまきわり体験

○炭クラフトづくり

Iikarakan（いいからかん）で炭クラフトづくりを行いました。

炭クラフトは高さ5cm位の炭に、グルーガン（加熱式接着剤）を使って、どんぐりや松ぼっくりなどの木の実や、小枝などを接着しながら作品をつくっていきます。

思い思いの作品（名作）が作れて、エコキッズキャンプのおみやげになりました。

炭には消臭効果があり、部屋に飾ると効果があるそうです。



炭クラフトづくり

4. 尾瀬散策の事前学習

夕食後、宿舍の大広間で「尾瀬の自然ガイド」の資格を持っている剣持さんが講師となって勉強会を行いました。

参加者には事前課題として渡してあった3つの資料「尾瀬フィールドマップ」「尾瀬ミニブック」「尾瀬を守るしくみ～公衆トイレ、木道～」を使って、明日の散策ルート、尾瀬の歴史、尾瀬に生きる動物や植物、木道を歩く時のマナー、トイレの利用方法、尾瀬に行くときの必需品など基本的なことを学びました。

子供たちからは、「どんな動物に会えるか」などたくさん質問が出ました。



尾瀬散策の事前学習

5. 尾瀬散策

昨晚心配していたお天気は快晴となりました。

剣持さんの他に、2名の尾瀬自然ガイドが合流し宿舎を出発しました。

鳩待峠から、3班に分かれて尾瀬散策がスタートしました。

鳩待峠から山の鼻ビジターセンターまでは、下り道で林の中を歩きます。

散策の途中、ガイドからは、雪の重みで大きく曲がった樹木や、樹木についたシカの角研ぎ跡などの説明を受けました。

山の鼻ビジターセンターではチップ制のトイレを体験し、自然を守るための取組を学びました。

尾瀬ヶ原の散策は、広大な湿原の中を歩き、牛首分岐付近で折り返しました。

散策の最後は、鳩待峠への坂を登ります。

尾瀬散策は楽しかったけれど、最後の登り坂はきつかったとの感想が複数ありました。



尾瀬の自然ガイドを先頭に散策



尾瀬の動植物の学習

6. 解散式

尾瀬散策終了後、片品村役場の会議室に移動して解散式を行いました。

西園先生、剣持さん、キャンプスタッフたちから、あいさつ、キャンプの感想を発表してもらいました。参加した児童には、キャンプの感想を記入してもらいました。

感想文提出後、片品村役場のとなりにある「道の駅かたしな」で家族へのおみやげを買い帰路につきました。



鳩待峠



尾瀬ヶ原散策



1. 環境についてのお話し（西園先生の講義）

- 石炭を燃やして電気を発電するより、水力発電や風力発電、太陽光発電をした方が地球にやさしいことが分かりました。
- カーボンニュートラルや、ネイチャーポジティブという言葉は耳にしたことはあったけれど、意味などはよく知らなかったもので、分かりやすく説明してもらって良かった。石炭は再生可能な資源かと思っていたけれど、再生可能だが、二酸化炭素を排出してしまうことを初めて知った。
- 日常で、環境のことについて深く考えたことが無かったので、とても良い学びの機会になった。発電するのにもたくさんの発電方法があってびっくりした。尾瀬（ぐんぎん尾瀬片品水力発電所）は環境にやさしい方法で発電していることを知った。
- 人間は服を着て、暑くなったらすぐに脱げるけど、地球は自分で服を調整できないから、ぼくたちが地球を大切にしないといけないことがわかった。

2. ぐんぎん尾瀬片品発電所見学

- （発電所を）最初に見た時は想像と違ってびっくりした。中を見てみると大きな機械があって、その貴下の中で水車が勢いよく回っていてすごいなと思いました。
- 思っていたのと違う発電所でおどろいた。意外にもオシャレで人が住んでいるものだと思ってしまった。観光や学習、非常時のために造られた発電所だと知って、片品以外の市町村にも、非常時エネルギーが配給されるのか気になった。
- 石炭（火力発電）ではCO₂が出てしまって、水力発電ではCO₂が出ないとわかった。水力発電では、使った水はそのまま川にかえしていると知ることが出来ました。
- 水を使って機械を動かしていてすごいなと思いました。しかも地球にやさしいと知ってすばらしいと思った。
- 発電所の形や、発電所の周りにいる動物、水がどのように来ているのかななどを、教えてくれて分かりやすかった。（水車が）実際に回っている所を見学できておもしろかった。

3. 炭クラフト・炭焼き小屋・水辺の生物観察

- 炭クラフトは水芭蕉や松ぼっくりなどを使って作品を作れました。炭焼き小屋見学は見た目はもえていように見えなかったけど、近づくと熱かったです。水辺の生き物観察は魚を見つけられなかったけど、楽しかったです
- 炭焼きで出てくる水分が飲めることを初めて知りました。炭と木では重さが全く違いました。水辺では、魚を少し見ましたが捕まえることができませんでした。
- 水辺の観察：トンボの幼虫が水の中にいてビックリした。炭クラフト：色々なパーツがそろっていてとても楽しかった。
- 部屋に炭を置いておくと消臭効果があることがわかった。炭クラフトでは、グルーガンの先っぽをさわらないようにした。炭焼き小屋で木酢酸をなめてまずかった。川では魚が取れず悔しい思いをした。
- 炭クラフトでは、どんぐりのトトロやまっくろくろすけなどかわいくて、作るのが楽しかった。炭焼き小屋のトウモロコシがおいしかった。水辺では生き物は見つけれなかったけど楽しかった。

4. 尾瀬についての学習

- この時期に咲く花や、見れるかもしれない動物を学んだり、尾瀬のマナーを知りました。明日、花や生き物を見てみたいです。
- 尾瀬は、時期によって、色々な花が見れることがわかりました。今は、コバイケソウやニッコウキスゲが見られることがわかりました。
- 尾瀬には環境を守るためにたくさんのルールがあるのを知った。どんな生き物がいるのか想像するだけでワクワクした。明日が楽しみ！
- トイレに100円かかるのは初めてだったし、尾瀬は全てが自然や環境にはいりよされていることがわかった。
- 尾瀬はルール、工夫、管理、いろいろな事をしてきれいな状態が続き、また1年、また1年とずっと残るようなことをしているということがわかったので、明日は楽しく、ルールを守ってがんばろうと思った。

5. 尾瀬ヶ原の散策

- 景色はとても眺めが良く、とてもきれいでした。尾瀬の湿原を歩くととてもたくさんの植物があり、そのほとんどが知らない植物で面白かったです。
- 尾瀬ヶ原の最初は思い描いていた景色とは違う景色で驚いたけれど、少し歩くと写真や映像で見たことのある風景があって安心しました。そこではアカハライモリやオタマジャクシが見れるとガイドさんが説明してくれてアカハライモリ2匹が見れました。尾瀬の水が飲めたり、持って帰れるというルールは初めて知りました。なぜ飲んだり持って帰ったりしていいのか気になります。
- 尾瀬ヶ原は緑が多くてとてもきれいな場所でした。ガイドさんの話はどれも興味がわくもので、全体的に面白い話が多いと感じました。
- 初めて尾瀬ヶ原に行きました。行く前は「木道は右のほうを歩く」「尾瀬の物は持ち帰らない」などのルールを聞いて緊張していましたが、行ってみると思っていたよりも涼しく、見たことがないものもがたくさん見れたのでおもしろかったです。

6. 二日間を通して「環境」について感じたこと

- 尾瀬ヶ原の様な場所に生えている植物や、そこにいる動物たちを守るためにも、CO2をできるかぎりへらして、温暖化を止めないとなと思いました。
- 環境は自分達が守ったり、工夫していかなないと、こわれたり、人に害を与えるものになってしまう。例えば2日目の尾瀬では一度こわれてしまった自然をルールやマナーを作って守っていた。1日目の水力発電の場所では環境に優しい電気の作り方や工夫を普通の人達にも伝えようとしていた。このような取り組みを私達がつないでいきたいと思います。
- 1日目の話で、今の地球や自然について学びました。2日目の尾瀬もとてもきれいで、自然を守りたいと思いました。2日間を通して自然の事や、環境のことを知り良い経験になりました。
- 尾瀬ヶ原では、環境保護のためにさまざまなことに取り組んでいることがわかった。例えば、自分のごみは持帰る、トイレはチップ制にして汚れた水を処理して環境に負担にならないように工夫していてとても勉強になった。
- 尾瀬ヶ原で、茎に止まっているトンボや、水に浮いている草花などを見て、地域の人々とこの環境を守っていかなくてはと思った。

7. キャンプ全体の感想

- 私は尾瀬のような山に行くことがなかなかなくて、思っていた以上に植物があってびっくりしました。また尾瀬のような場所に行くときは、植物や生き物をたくさん見てみたいです。
- 1日目は知らない人が多く不安でしたが、宿で同室の子と仲良くなれて、2日目も同じ班だったのでとても充実していました。尾瀬に行くのは初めてで緊張していましたが、美しい景色で緊張もほどけました。スケジュールは紙を見ると休けい時間が少なくて大変そうでしたが、実際はたくさんあって尾瀬でも安心して観察できて安心しました。今度尾瀬におとずれたら至仏山にも登ってみたいです。
- 初めての尾瀬、初めての仲間、初めての片品、たくさんの初めてができたので、すごく楽しかったです。
- 尾瀬はずっと行きたいと思っていたので、今回このぐんぎんエコキッズキャンプに行けてよかったです。最初知らない人ばかりだったけど、みんなと仲良くなれてよかったです。
- 班行動が多く不安だったが、友達を作りさまざまな見学ができたため、絆を深められたと思う。初めて行った尾瀬は自然豊かですごかった。炭クラフトでいい作品ができてよかった。発電所や尾瀬ヶ原など環境に関係あるものを見学できたので充実したキャンプとなった。

以 上

第21回 ぐんぎん財団エコキッズキャンプ in 尾瀬片品

○ご協力いただいた方々

片品村役場 様
道の駅尾瀬かたしな かたしな食堂 様
芳味亭 様
東京発電株式会社 様
尾瀬観光タクシー有限公司 様
iikarakan (いいからかん) 様
尾瀬須藤林産 様
湯元千代田館 様
株式会社群馬バス 様
ぐんま山森自然楽校 スタッフ 様
群馬県ナースセンター 様

ご協力ありがとうございました。



緑豊かな群馬県内の池や沼には、私たちカエルの仲間がたくさん住んでいます。県指定天然記念物で、準絶滅危惧種の「モリアオガエル」君もいます。

私たちカエルの卵にはカウがないので、紫外線はとても危険です。オゾン層が破壊され、強い紫外線が降ってくるようになると、赤ちゃんが死んでしまうこともあります。

元気な「おたまじゃくし」が生まれるよう、いつまでも地球の自然環境が保たれることを願っています。